

「うまくできない部分も自分だから見てね」と思うくらいで、ちょうどいい。

立派な姿を見せようと、力が入りすぎていませんか。
スポーツの大会では、かっこよく得点を決めているところを見せたいと思います。

会話では、楽しい話をスムーズに進められるところを見せたいと思うでしょう。

たしかに好きな人の前では、きちんとしたところを見せる心がけは大切です。

立派な姿を見せたほうが、相手からの印象もよくなります。

しかし、立派な姿ばかり見せようとする、恋に疲れします。

息苦しくなったり、疲れやすくなったりするのです。

緊張しますし、落ち着きません。

恋は、もっとおおらかにするものです。

人間ですから、できることもあれば、できないこともあります。

うまくいくこともあれば、失敗することもあります。

どちらも、自分です。

立派な姿ばかり見せようとするではありません。

「うまくできない部分も自分だから見てね」と思うのです。

恥ではありません。

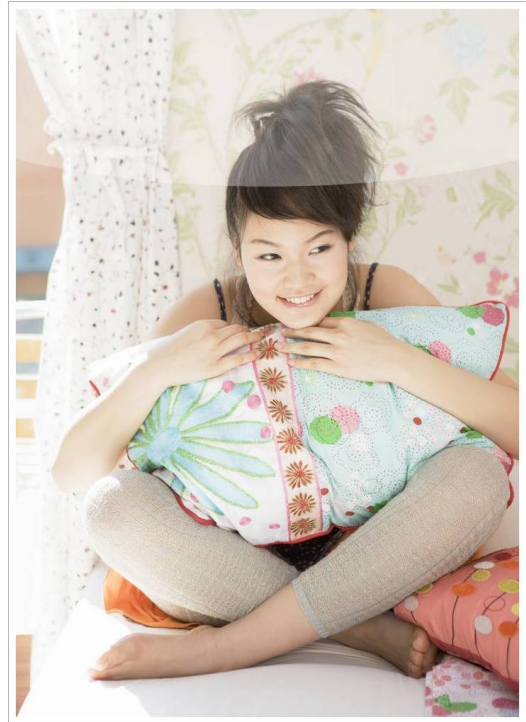
自分の一面です。

うまくいっていないところを見られていいのです。

笑われて、大成功ではありませんか。

かっこ悪い姿であろうと、相手を楽しませているからOKです。

その瞬間、かっこ悪い姿が、かっこよくなるのです。



☑️ 恋する人が知っておきたい恋愛哲学 その16

「うまくできない**部分も自分**だから**見てね**」と**考える。**